

穴あきダムでは清流も守れない



島根県益田川ダム（流水型ダム）

国と県が進める「流水型ダム」（穴あきダム）で、本当に川辺川・球磨川の清流が守れるのでしょうか？

例えばダムに穴が空いていても、アユは自由に遡上と下降できず、川辺川から「尺鮎」がいなくなると指摘されています。堆積土砂により川の濁りが長期化し、水質悪化と生態系の激変は、建設予定地だけでなく不知火海まで影響を与えます。しかし、国は法律に基づく環境アセスメントすら実施しない予定です。

すでに流水型ダムが完成した島根県益田川では、川や周辺の魚や水生生物、植生が激変しています。穴あきダムで清流も守れるとする根拠はどこにもありません。

7・4豪雨が新たな治水目標から外されている！？



球磨川の流れ

7・4豪雨災害を受け、国は新たな球磨川河川整備基本方針を策定しました。ところが驚くことに、2020年7月4日の雨量データは対象から除外されています。つまり新たな基本方針では、7・4豪雨災害に対処できないのです。

大きな被害を引き起こしたあの7・4災害を受けての治水目標見直しなのに、なぜこんなおかしなことが起きるのでしょうか。国は、ダムの必要性を正当化させるため意図的に外したのではないかと指摘されています。気候変動で豪雨が激化するようになり、ダムを柱にした治水では対応できない時代になっています。

災害の発生源となった 流域の森林保全こそ急務



支流から土砂と倒木が流れ込んだ

昨年の水害では支流の被害が大きく、数百箇所が崩落し、山林の荒廃も被害拡大の原因と指摘されています。しかし国は山の問題を検証することなく、森林の専門家不在のまま流域治水計画づくりを進めています。

球磨川の流域面積の約80%は森林です。熊本県は「緑の流域治水」をうたう以上、現在の森林政策を根本から考えなおし、災害防止を視野に入れた流域の森林の再生、保全に力を入れるべきです。

発行：美しい球磨川を守る市民の会 / 清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会
7・4 球磨川流域豪雨被災者・賛同者の会 / 坂本町被災者・支援者の会
子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会

連絡先：八代市萩原町 1-2-7 喫茶店ミック気付 TEL080-3999-9928(土森)
人吉市南泉田町 25 くま川ハウス(手渡す会)

みんなで考えよう！川と私たちの未来

このままでいいの？球磨川の流域治水

私たちとその先の子どもや孫のために、いっしょに考えてみませんか

ちょっと待って！

現在、国と県による球磨川の「流域治水」計画づくりが進んでいます。しかし、本当に私たちの不安や希望に応える計画なのでしょうか。このパンフレットでは、現在進んでいる球磨川の「流域治水」計画づくりの問題について、わかりやすくお伝えします。

住民不在のままで進む治水対策



住民置きざりの治水計画づくり

現在、流域各地で「緑の流域治水」計画案の説明会が開催されていますが、参加した方々からは不満の声が噴出しています。行政側の説明は一方的で、地元の水の流れや山の状況を知っている住民の意見がまったく反映されていないためです。ダムありきの宅地高上げの高さ、ダムありきの引き堤や堤防、ダムありきの河床掘削など、完成めどの立たない流水型ダムを前提とした対策ばかりです。

流域治水計画づくりは、本来「すべての関係者と協議をしながら」実施することが定められています。リスクと向き合う私たち流域住民の声を反映させるよう、意見を出していきましょう。

水害の検証もなく再浮上 突然の川辺川ダム



流水型の川辺川ダム建設予定地

2020年7月4日の豪雨災害後、国や県や自治体はなぜあれほどの水害が起こったのかについて一切検証することなく、いきなり川辺川ダム計画が再浮上しました。

あれほどの水と土石がどこから来たのか？亡くなられた尊い命は、ダムがあったら守られたのか？今回はあまり雨が降ってない川辺川に、球磨川中下流と同様の雨が降っていたら、緊急放流の危険性はなかったのか？

これらの洪水の検証なしで、ダム建設を検討することを許すべきではありません。